

気になることを聞きました！ 新型コロナウイルス Q & A

専門は
感染症疫学と
小児感染症学

問い合わせ 健康づくり課 ☎229-3310 📠229-3346

仕事や学業などで活発に活動されている若い世代への感染が急激に増加している中、今回は感染症疫学の専門家で、国がコロナ対策について意見を求める「新型インフルエンザ等対策推進会議基本的対処方針分科会」の委員を務める谷口清州先生に、新型コロナウイルス感染症とワクチン接種に関する疑問についてお話を伺いました。

※8月25日現在の情報をお届けしています。

国立病院機構
三重病院
谷口 清州 院長



Q1.

新型コロナウイルスに感染すると、どんな症状が出るの？

A. 風邪とは全く違い、無症状でも後遺症が出ることがあります

感染すると、発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感^{※1}などの症状が多くみられ、入院治療が必要な人のうち、約80%に深部静脈血栓症^{※1}が起こるといわれています。

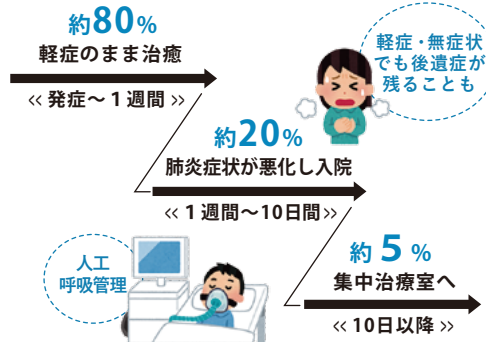
治癒後も味覚・嗅覚障害、呼吸困難、倦怠感、精神疾患^{※2}などの後遺症が残ることがあります。

また、感染した時に無症状であっても、微小血栓(小さい血の固まり)や、約60%に起こるとされる肺の間質性陰影(肺の傷)の影響で、後から後遺症が出ることもあります。

※1 心臓に血液を戻す血管に、血の固まりができる病気。脳梗塞・心筋梗塞・肺梗塞などが起こり、突然死の原因となることがある。

※2 感染者のうち約20%が、認知症、不安障害、記憶力や理解力、判断力の低下などの精神疾患の新規診断を受けることがある。

新型コロナウイルスの典型的な経過



中国における約4万症例の解析結果を参考に作成(Wu, JAMA 2020)

Q2.

若い人は感染しても大丈夫？

A. 若い世代でも、変異株による重症例が増加しています

重症化する人や死亡する人の割合は高齢者で高く、30～50歳代は無症状者や軽症者が多いですが、変異株による重症例が増えています。

また、Q1のとおり無症状でも後遺症が出ることがありますので、可能な限り感染を避けてください。

Q3.

感染を防ぐために必要なことは？

A. ワクチンの接種と、接種後も基本的な感染防止対策を続けることです

ワクチン接種と、ウイルスが体に入る機会を減らすための感染対策が必要です。ワクチン接種後も、人との距離を保つ、マスクの着用、手洗い・消毒、換気などの基本的な感染対策は、引き続き行ってください。

